

開物成務

道徳授業研修会

本校では、教育目標に「道徳の時間の充実」を掲げていますが、9月14日(金)には、道徳教育の第一人者、大阪市立豊仁小学校長の服部敬一先生をお招きし、研修を行いました。他小中学校の先生方や保護者の皆様にも参加していただき、共に道徳教育のあり方について研修を深めることができました。

まず、6年3組の児童に対して、服部先生が道徳の授業を行いました。主題は「仲間はずれ」資料は「名前のない手紙」です。昨今、学校教育で大きな話題になっている「いじめ」の問題に真正面から取り組んだ授業でした。「いじめを見かけたら勇気をもって止める。」「いじめられている人の辛さを理解し、思いやりのある行動をとる。」といった視点だけでなく、「いじめは誰も望んでいない」「いじめの主犯格さえ、罪悪感が心のどこかにある」との人間観に立った授業でした。6年生の児童は、先生の発問に真剣に考え、堂々と答え、とても立派でした。

授業後の研究会では、児童の感想をもとに服部先生から授業の反省や今後の道徳教育のあり方等をご指導いただき、大変貴重で有意義な研修会となりました。本校では、今後も道徳教育を充実させ、児童一人一人が豊かな心で大きく成長できるよう進めてまいります。



服部先生の道徳授業



開成地区敬老会

敬老会

9月15日(土)開成地区の敬老会が本校体育館で盛大に行われました。主催者として原正夫郡山市長さんもおいでいただきました。児童を代表して、5年生・6年生から1名ずつ作文を発表しました。自分の経験を通して、お年寄りを大切にする心を訴え、大変感動的な内容で、会場では涙する方もいらっしゃいました。第2部では、本校合唱部が歌のプレゼントをしました。「茶つき」の歌に合わせて児童とお年寄りと一緒に手遊びをする場面もあり、大変喜ばれました。子どもたちの温かい心が伝わり、とても和やかな敬老会となりました。

17日(月)には、針生地区敬老会が、針生公民館で行われました。5年生・6年生の代表児童が作文を発表し、お年寄りを大切にする気持ちを表し、大きな拍手をいただきました。

本校では、今後とも地域と連携し、敬老の大切さがわかる児童を育てていきます。

俳句教室

1年生と5年生を対象に「俳句教室」を行っています。講師は、前校長の佐藤新一先生です。

屋外に出て、五感で自然や季節を感じ、それを、「五・七・五」の言葉にしていきます。普段何気なく見たり聞いたりしていることが、視点を変えると大きな感動に変わります。

子どもたちの心で詠む俳句は、とても素晴らしい作品です。



